

2022年11月期 第2四半期決算説明会

2022年8月10日
株式会社ノダ

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

目次

2

- グループの状況 P 3
- 連結業績概況 2022年11月期 2Q P 9
- 連結業績予想 2022年11月期 通期 P25
- 配当予想 P37
- ESGに関する取り組み P39

グループの状況

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

グループの出資状況

【連結決算対象会社の状況】

《連結子会社》 ※出資比率：石巻合板工業(株)は80%、それ以外は100%

アドン(株)

(株)ナフィックス

スラインダー社 (インドネシア)

石巻合板工業(株)

*アイピーエムサービス(株)

*アイピーエムサービス(株)は石巻合板工業(株)の100%子会社

《持分法適用関連会社》 ※出資比率：49%

サンヤン社 (マレーシア)

【上記以外の状況】

《非連結子会社》 ※出資比率：100%

(株)巴川製作所

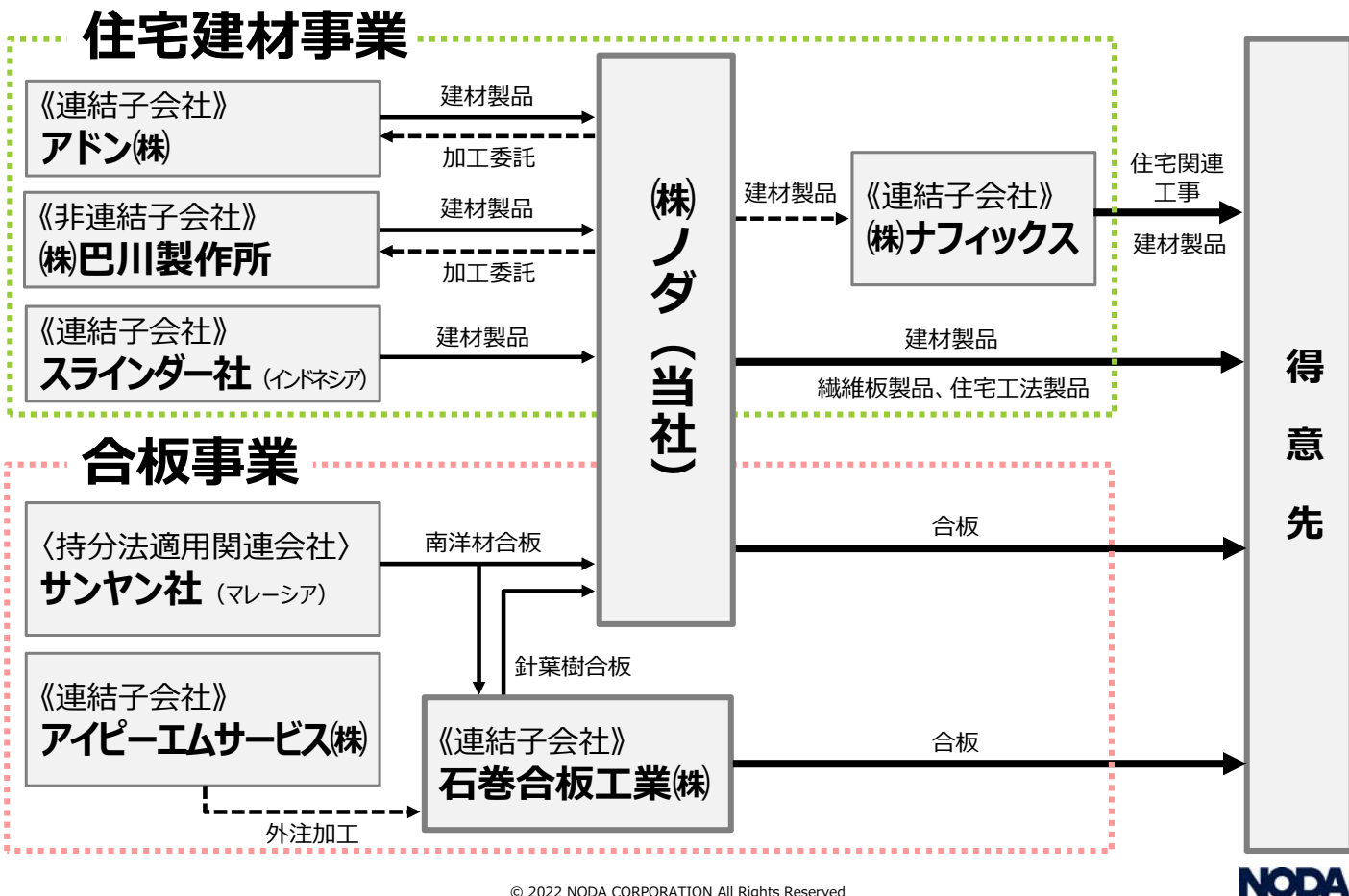
《資本提携》 ※出資比率：7.4% (ノダ3.7%、石巻合板工業3.7%)

IFI社 (インドネシア)

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

グループの事業系統図



グループの事業分野（住宅建材事業）

建材製品

住宅工法製品

繊維板製品

【生産拠点】

- (株)ノダ 清水工場、アドン(株) (静岡県静岡市)
- (株)ノダ 富士川工場 (静岡県富士市)
- スライダ―社 (インドネシア)

Product Examples: BINOIE, Art Couture, 大井町シリーズ, Mode Collect

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

国産針葉樹合板

構造用ヒノキハイブリッド



構造用針葉樹合板



【生産拠点】

（株）ノダ 富士川工場
（静岡県富士市）



石巻合板工業（株）
（宮城県石巻市）



サンヤン社
（マレーシア）



単板積層材
（LVL）



オールヒノキ（無節）



ラワン構造用合板



塗装型枠用合板



輸入南洋材合板

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

グループの拠点概要

（2022年5月末現在）

営業拠点
49ヶ所

生産拠点
7ヶ所

ショールーム
7ヶ所

国内 4ヶ所
海外 3ヶ所
※資本提携先を含む



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績概況

2022年11月期 第2四半期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

2Q累計 連結業績ハイライト（総括）

10

合板相場の急騰により、大幅増収増益

(金額単位：百万円)	前期実績	当期実績	前年同期比
売上高	30,983	38,641	+ 7,658 (+ 24.7%)
営業利益	1,563	4,694	+ 3,130 (+ 200.2%)
経常利益	1,738	4,985	+ 3,247 (+ 186.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,051	2,983	+ 1,931 (+ 183.6%)

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

(金額単位：百万円)

<u>住宅建材事業</u>	前期実績	当期実績	前年同期比
売上高	19,550	21,957	+ 2,406 (+ 12.3%)
セグメント利益	1,463	1,453	▲ 10 (▲ 0.7%)
<u>合板事業</u>	前期実績	当期実績	前年同期比
売上高	11,432	16,684	+ 5,251 (+ 45.9%)
セグメント利益	873	4,192	+ 3,318 (+ 379.9%)

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

住宅業界を取り巻く事業環境

ウッドショックの影響が継続

- 前年に引き続き、国産・輸入とも木材不足・価格高騰
- 合板相場は、需給ひっ迫による先高感から大幅に上昇

物価上昇、円安

- 原材料・副資材価格、物流費、電力料が大幅に上昇

住宅価格の上昇

- 資材価格高騰や円安の影響
- 持家の新設住宅着工戸数が減少(総戸数は増加)

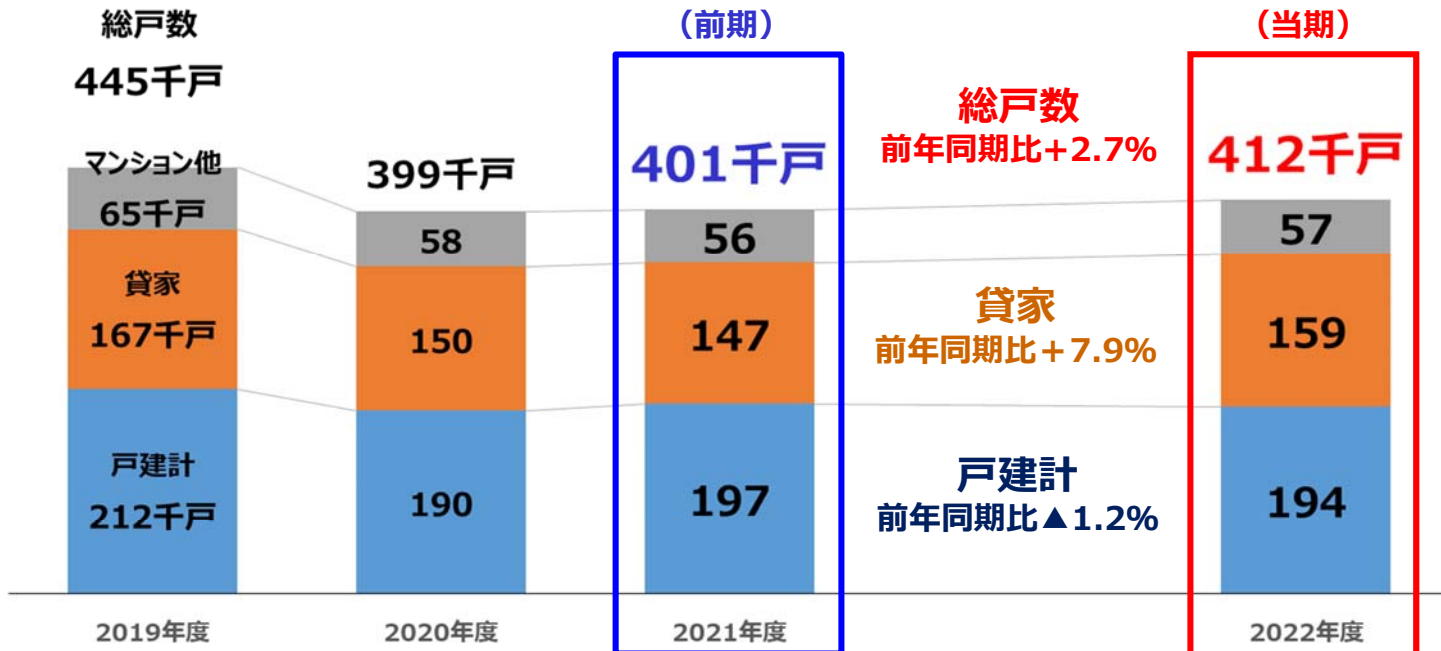
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

- ・ 総戸数は前年同期比+2.7%
（内訳：持家▲6.0%、分譲一戸建+8.1%、貸家+7.9%）
- ・ 当社グループの販売に関係深い「持家+分譲一戸建」は同▲1.2%

※戸数は単位未満切り捨て

※各年度の期間は、12月～5月の6ヶ月間を示す



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

住宅建材事業

2022年11月期 第2四半期

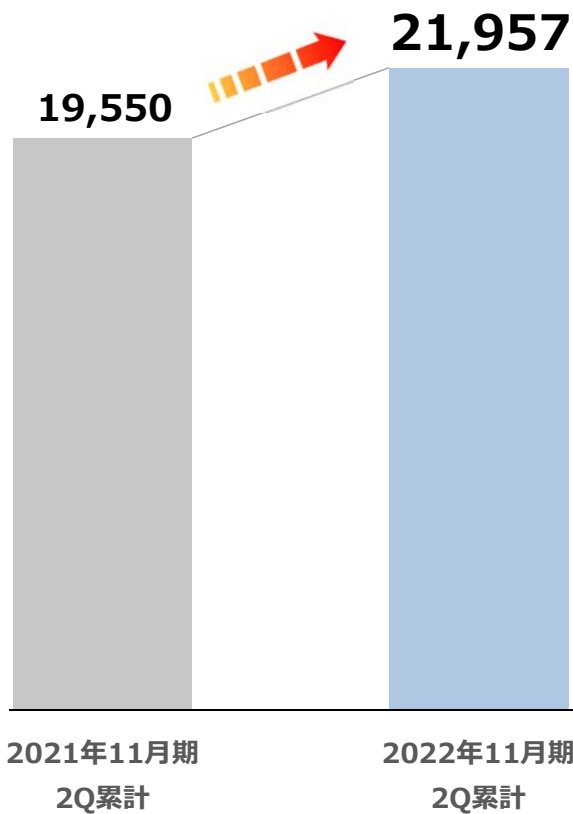
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績のポイント（売上高）

15

(百万円)



住宅建材事業〈要因〉

前年同期比 + 2,406 百万円
(+ 12.3%)

- 販売価格の改定
 - ✓ 建材・MDF製品全般
- 販売量の増加
 - ✓ 住宅ローン減税〆切に伴う駆け込み需要が追い風に

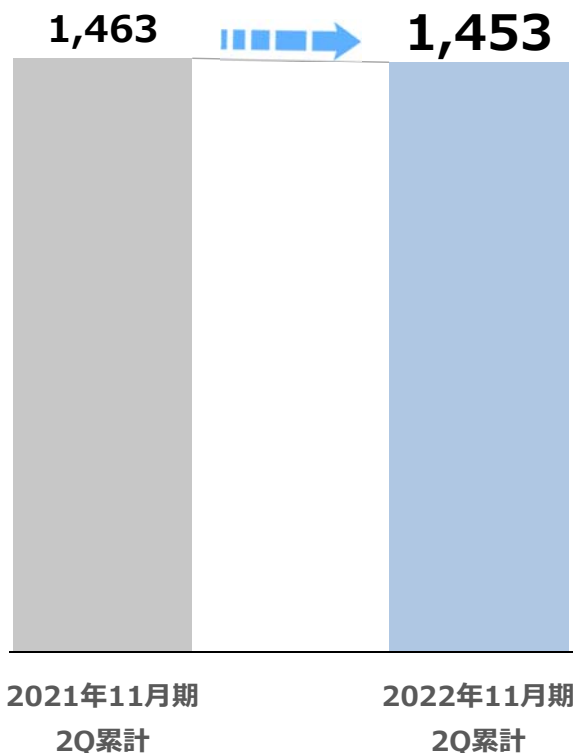
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績のポイント（セグメント利益）

16

(百万円)



住宅建材事業〈要因〉

前年同期比 ▲ 10 百万円
(▲ 0.7%)

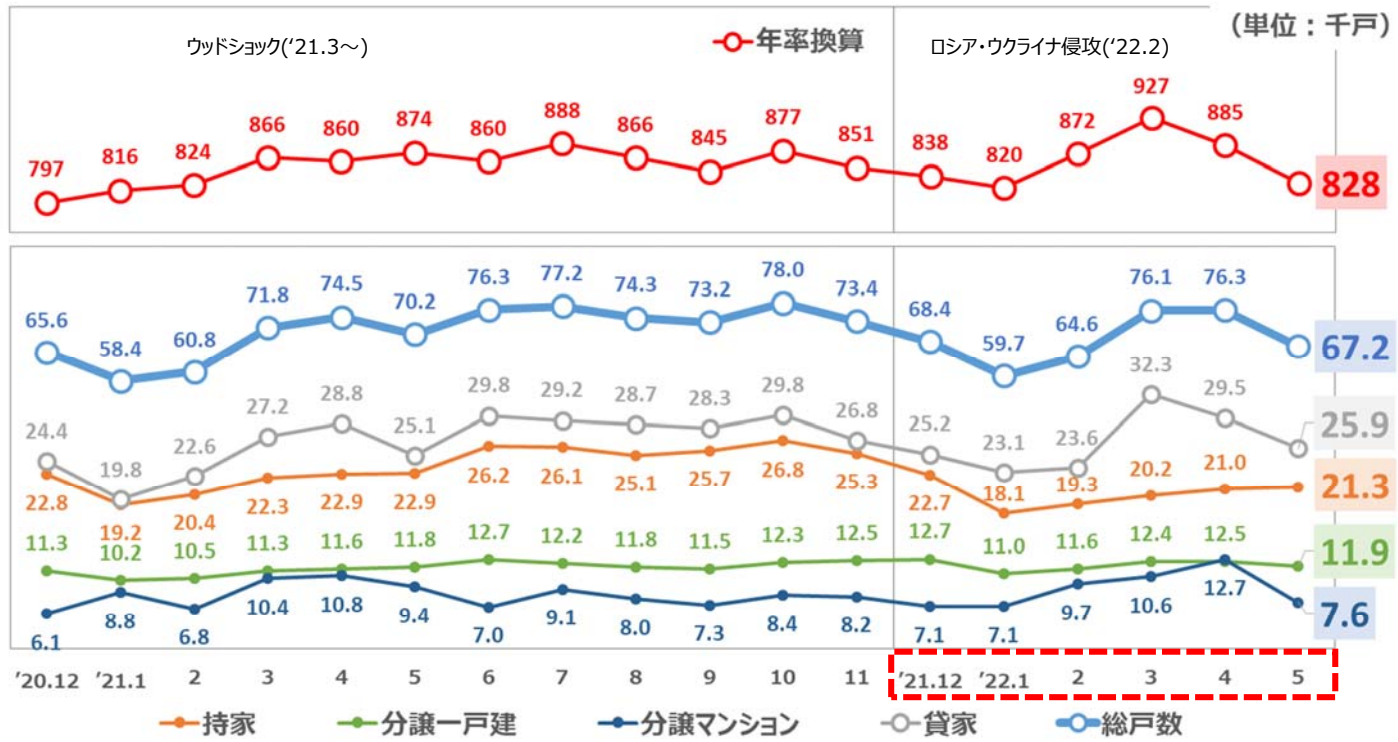
- 原材料・副資材コスト、物流コスト等の急騰
 - ✓ 自助努力や価格改定で吸収しきれず

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

新設住宅着工戸数の推移（月次）

・総戸数は4月まで前期超えで推移したが、持家は前期割れが継続
 ・5月には総戸数も前期割れとなり、今後の市況悪化が懸念される



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved



合板事業

2022年11月期 第2四半期

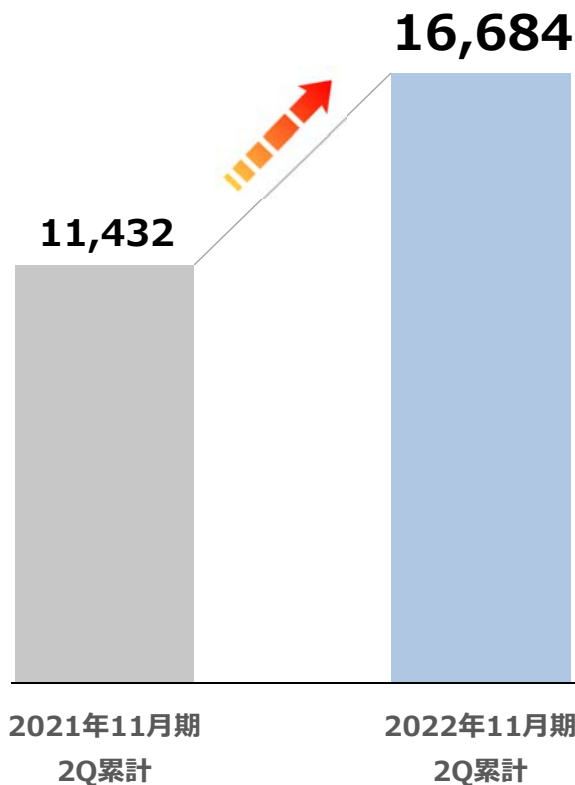
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved



連結業績のポイント（売上高）

19

(百万円)



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

合板事業〈要因〉

前年同期比 + 5,251 百万円
(+ 45.9%)

・販売価格の上昇(価格転嫁)

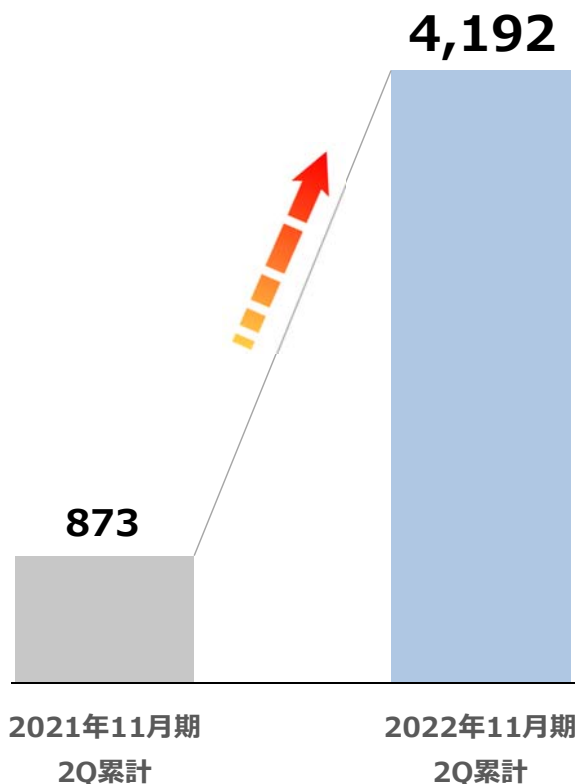
- ✓ 国産針葉樹合板：
原木不足と住宅需要回復が重なり需給が著しくひっ迫
- ✓ 輸入南洋材合板：
原木・人手不足による産地価格上昇で先高感

NODA

連結業績のポイント（セグメント利益）

20

(百万円)



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

合板事業〈要因〉

前年同期比 + 3,318 百万円
(+ 379.9%)

・販売価格の上昇

- ✓ 国産、輸入いずれもコストアップに先行して価格転嫁

・前期は国産針葉樹合板の生産を一時停止

- ✓ 昨年3月、連結子会社の石巻合板工業で火災発生

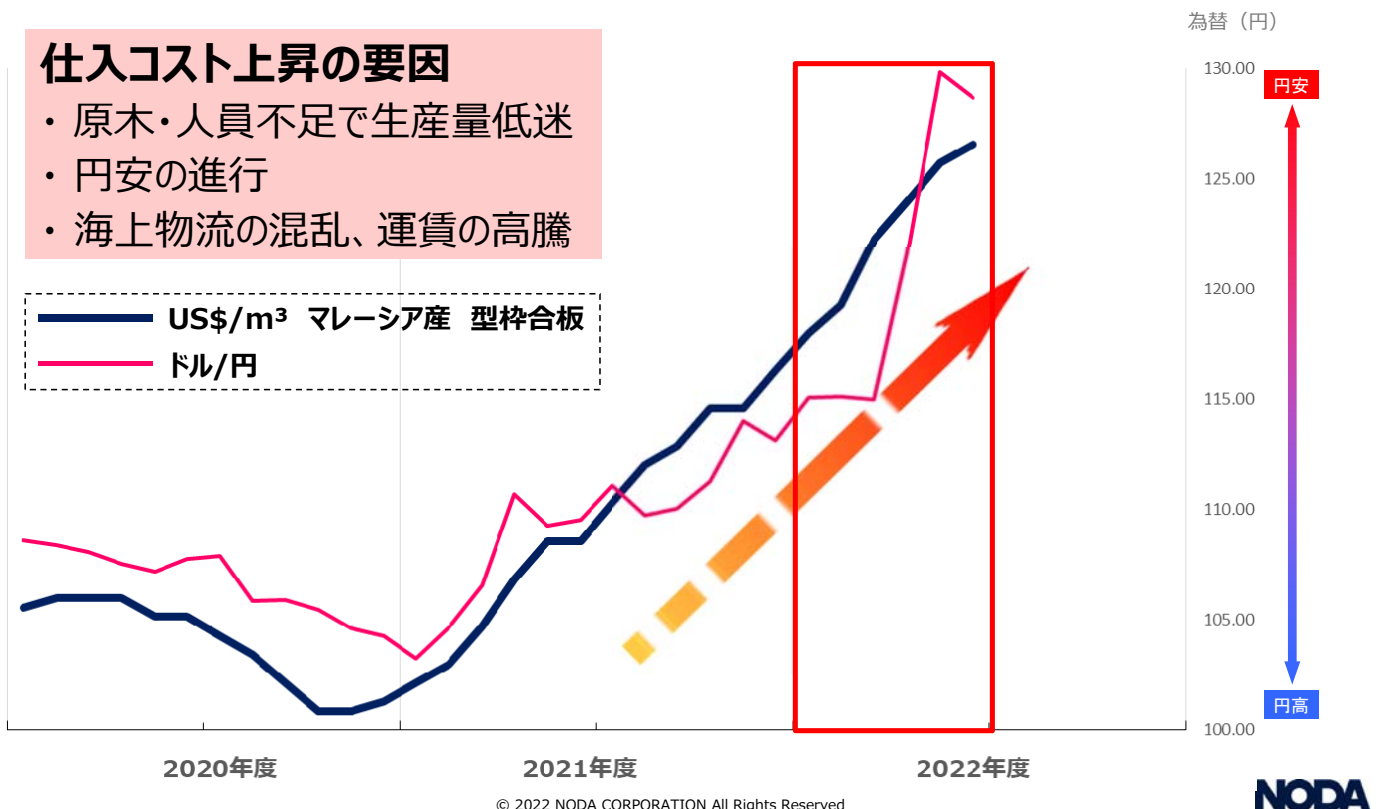
NODA

輸入南洋材合板 仕入コスト推移

産地価格の上昇や円安により、仕入コストの上昇が継続

仕入コスト上昇の要因

- ・ 原木・人員不足で生産量低迷
- ・ 円安の進行
- ・ 海上物流の混乱、運賃の高騰



国内 合板用丸太(原木)価格推移

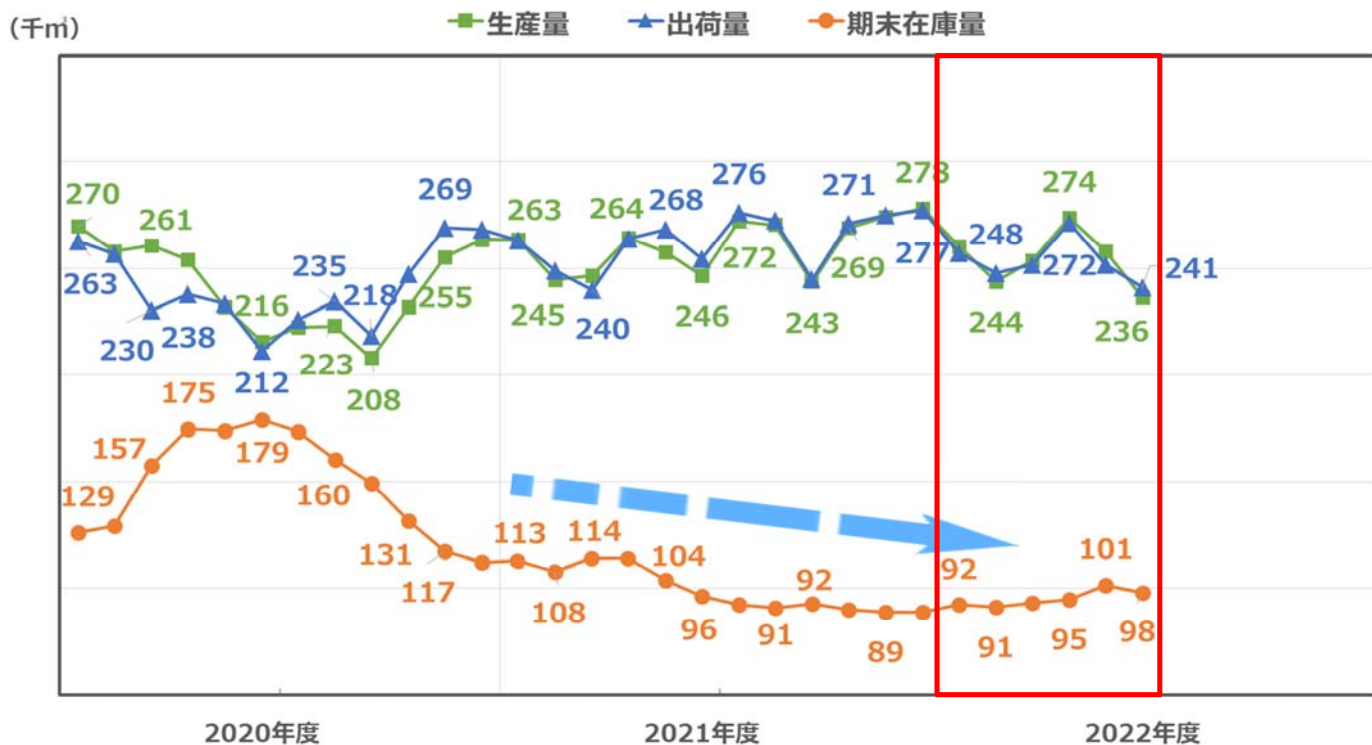
ウッドショックにより国産材の需給がひっ迫し、価格が高騰



資料) 農林水産省「木材価格統計調査」

国産針葉樹合板 生産・出荷・在庫 推移

住宅需要は概ね堅調に推移し、在庫水準は低い状態が継続



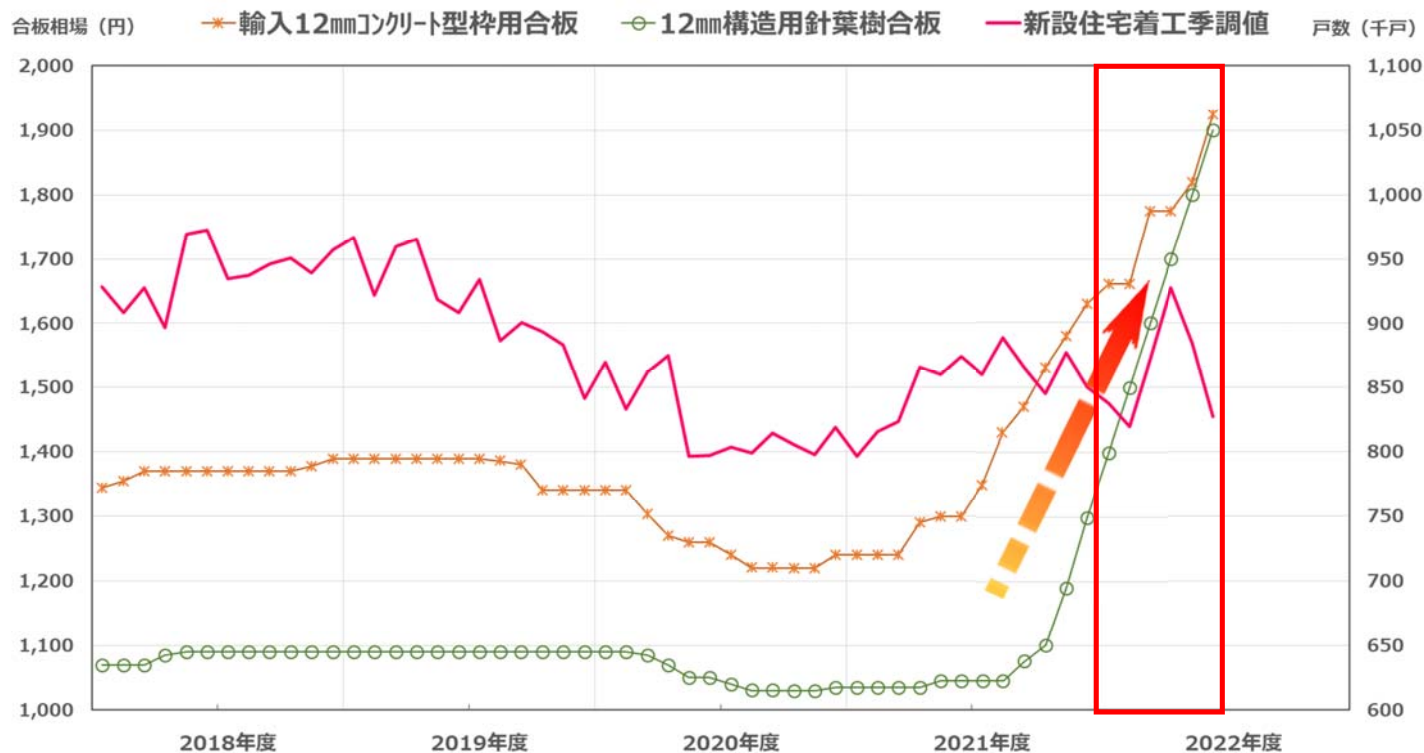
資料) 農林水産省「合板統計」

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

市場環境認識 (合板相場)

2021年夏以降、需給ひっ迫により合板相場的大幅な上昇が継続



資料) 日本経済新聞社「主要相場」、国土交通省「住宅着工統計」

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想

2022年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績ハイライト（総括）

26

上期大幅増収増益に伴い、通期も上方修正

(金額単位：百万円)	通期予想	前期比	修正前
売上高	79,500	+ 14,913 (+ 23.1%)	70,000
営業利益	9,100	+ 5,270 (+ 137.6%)	4,700
経常利益	9,500	+ 5,256 (+ 123.9%)	5,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,600	+ 3,064 (+ 120.9%)	2,900

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

下半期の事業環境

● 原材料・副資材コスト高や物流コスト高の継続

- ロシアによるウクライナ侵攻の長期化
- さらなる円安の進行
- 海上物流の混乱

● 住宅需要の減速懸念

- 住宅ローン減税切れに伴い発生した駆け込み需要の収束
- 資材価格高騰による住宅価格の上昇
- 合板や住設機器(トイレ、給湯器等)の納期遅延

先行き不透明な状況が継続する見込み

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

グループ一貫生産による供給の安定性

素材(合板・MDF)から建材製品までグループで一貫生産できる強みを活かし、引き続き製品の安定供給に努める



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

住宅建材事業

2022年11月期

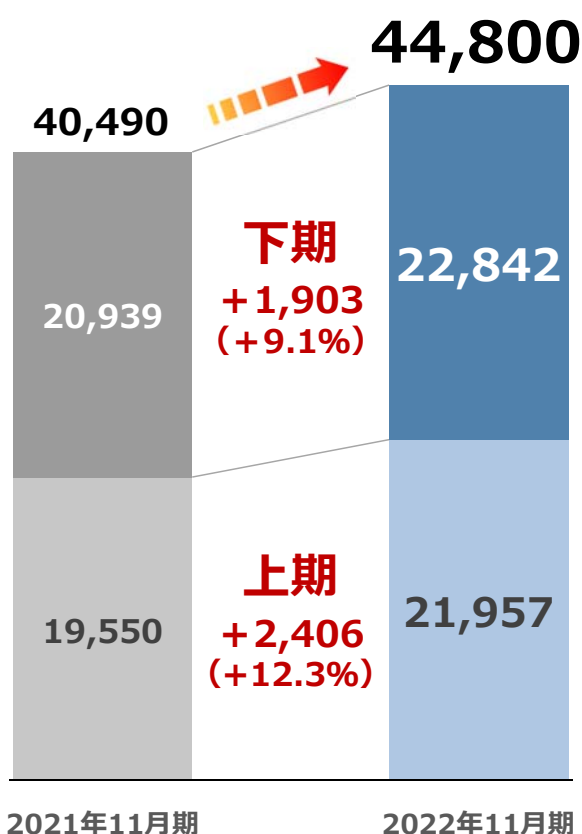
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想のポイント（売上高）

30

(百万円)



住宅建材事業

前期比 +4,309 百万円
(+10.6%)

- 販売価格の改定
- 安定供給による販売促進、シェア確保
- 住宅需要の減少懸念
 - ✓ 駆け込み需要の収束
 - ✓ 住宅価格の上昇

2021年11月期

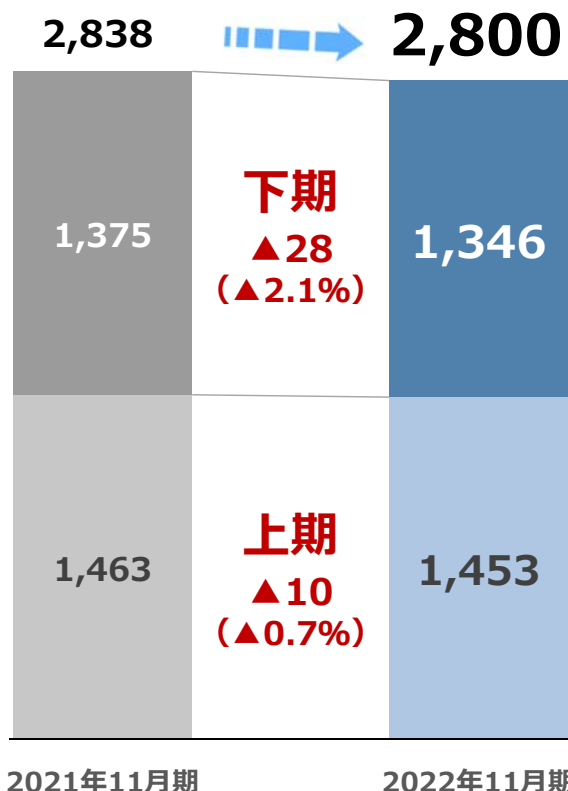
2022年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想のポイント（セグメント利益）

(百万円)



住宅建材事業

前期比 ▲38 百万円
(▲1.4%)

- 更なるコストアップ
 - ✓ チップ、接着剤、電力料等が大幅に上昇する見込み
 - ✓ 原材料・副資材を確保し、製品の安定供給を継続
- 製造コストダウンの徹底

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

多様なニーズへの対応

多様なニーズに対応した高付加価値製品の販売に注力し、引き続き安定供給に取り組みながらシェアの確保に努める



国産材の活用、
抗ウイルス加工



マンションリノベ
ション市場の開拓



石目調フロア
(木目以外の需要増)

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

公式ホームページや各種SNSを活用し、様々なコンテンツを通じてユーザーの利便性向上やノダブランドの認知度向上を図る



ホームページ



YouTube



Instagram



Facebook

NODA BRAND MOVIE



100年以上の歴史とともに「しんか」を続けるノダの取り組みを紹介する企業動画を公開中



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

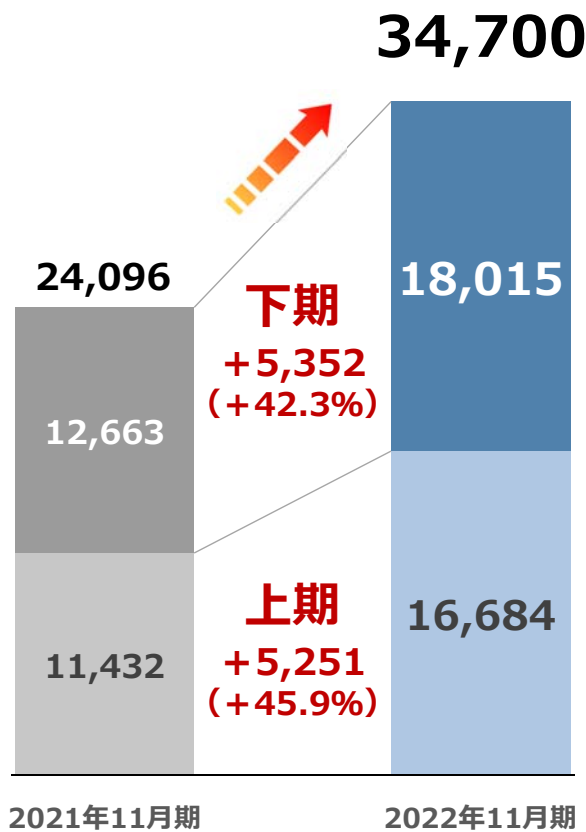
合板事業

2022年11月期

連結業績予想のポイント（売上高）

35

(百万円)



合板事業

前期比 +10,603 百万円
(+44.0%)

- 秋口に相場は調整局面に入り、販売価格低下
 - ✓ ただし、国産針葉樹合板の需要は底堅く推移するものと見込まれる

2021年11月期

2022年11月期

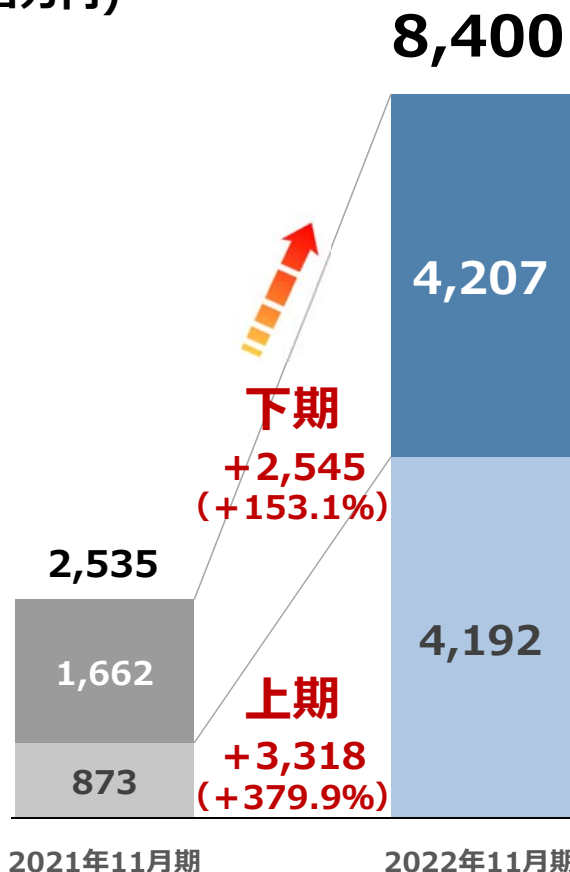
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想のポイント（セグメント利益）

36

(百万円)



合板事業

前期比 +5,864 百万円
(+231.2%)

- 合板相場は調整局面へ
 - ✓ 販売価格は緩やかに低下
 - ✓ ただし、国産針葉樹合板の需要は底堅く推移
- 原木や輸入合板の仕入コスト高が継続

2021年11月期

2022年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

配当予想

2022年11月期

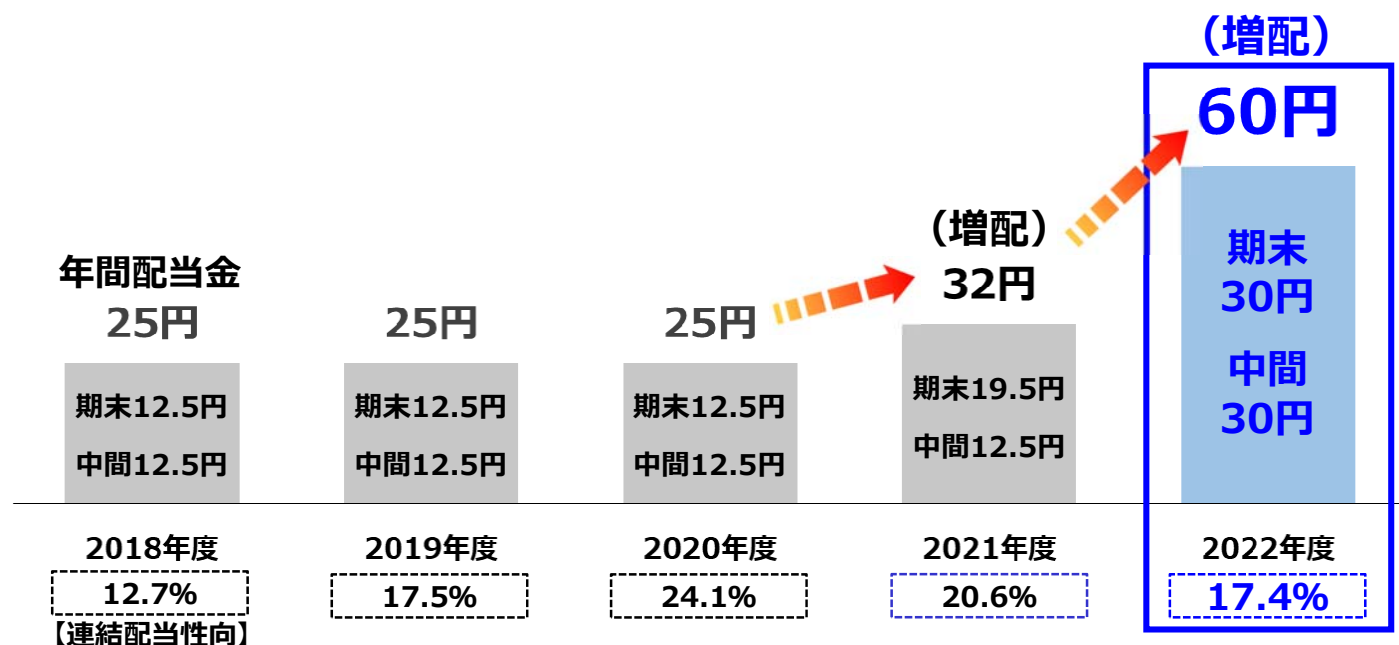
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

配当金の推移（直近5年間）

配当の基本方針

- ・業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行う
- ・内部留保金については、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てる



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

ESGに関する取り組み

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

ESGに関する取り組み

40

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Environment (廃木材の活用)

森林資源の保護に貢献

再生資源・未利用資源である廃木材をチップとしてリサイクルし、エコ素材であるMDFを製造



住宅解体作業等から出る廃木材チップ

Environment (国産材の活用)

健全な森林の整備、CO₂削減に貢献

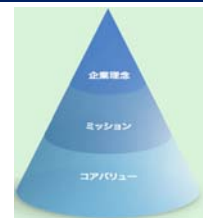
MDFや国産針葉樹合板の原材料として国産材(間伐材・未利用材等)を積極的に活用



Governance (企業価値向上)

理念・ビジョンの社内浸透

- ・経営トップによる継続発信
- ・ビジョンの実現に向け、テーマ別に戦略の立案・推進を実施



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social (剥き芯の寄贈)



静岡県「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力

植栽林を潮風や砂から守る木杭材料として、合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を寄贈

本取り組みが貢献するSDGsの目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Social (職場環境の改善)

社内のコミュニケーション促進

本社や工場の一部リニューアルを行い、風通しが良く働きやすい職場づくりを促進



本社オフィスラウンジ

- ・他部署との連携を促進
- ・リラックスできる空間
- ・自由な発想で新たな価値を創造



富士川工場ロッカー棟

- ・コミュニケーションスペースを設置
- ・清潔で快適な空間
- ・安心・安全な建物構造

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

参考資料

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

「ビジョン2030」経営理念

現在ならびに将来の様々な環境変化に対応し、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、2021年2月に経営理念を改訂

ビジョン2030 木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】 社会に果たすべき使命

- ・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
- ・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】 理念実現のための共通の価値観

共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

「ビジョン2030」環境への取り組み

快適な空間創造に寄与する製品を提供し、持続可能な森林循環に貢献し続けるため、SDGsの以下の目標達成に取り組む

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

11 住み続けられるまちづくりを



目標11

「住み続けられるまちづくりを」

誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任



目標12

「つくる責任つかう責任」

持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃棄資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を



目標13

「気候変動に具体的な対策を」

気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさも守ろう



目標15

「陸の豊かさも守ろう」

森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績推移（直近5ヶ年）

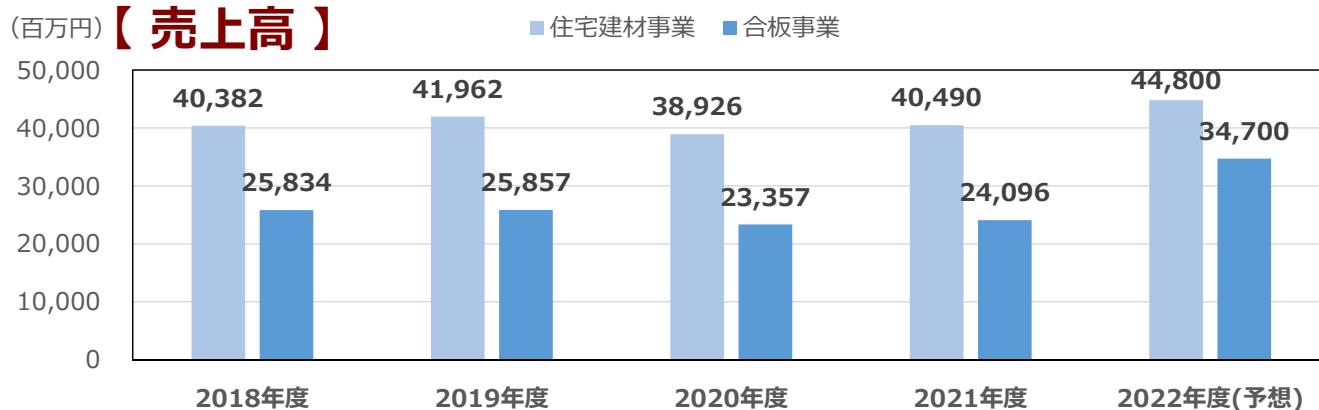
(金額単位：百万円)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (予想)
売上高	66,216	67,819	62,284	64,586	79,500
営業利益	3,799	3,586	2,788	3,829	9,100
－営業利益率	5.7%	5.3%	4.5%	5.9%	11.4%
経常利益	4,140	3,767	2,912	4,243	9,500
－経常利益率	6.3%	5.6%	4.7%	6.6%	11.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,196	2,330	1,691	2,535	5,600
ROE	13.6%	9.1%	6.3%	8.8%	—
総資産	58,343	62,291	58,596	63,998	—
純資産	27,400	29,419	30,516	33,503	—
自己資本比率	42.4%	42.6%	46.8%	47.0%	—
設備投資額	2,063	1,806	1,463	1,670	2,400
減価償却費	1,918	2,114	1,928	1,789	2,000
研究開発費	174	171	193	207	250

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

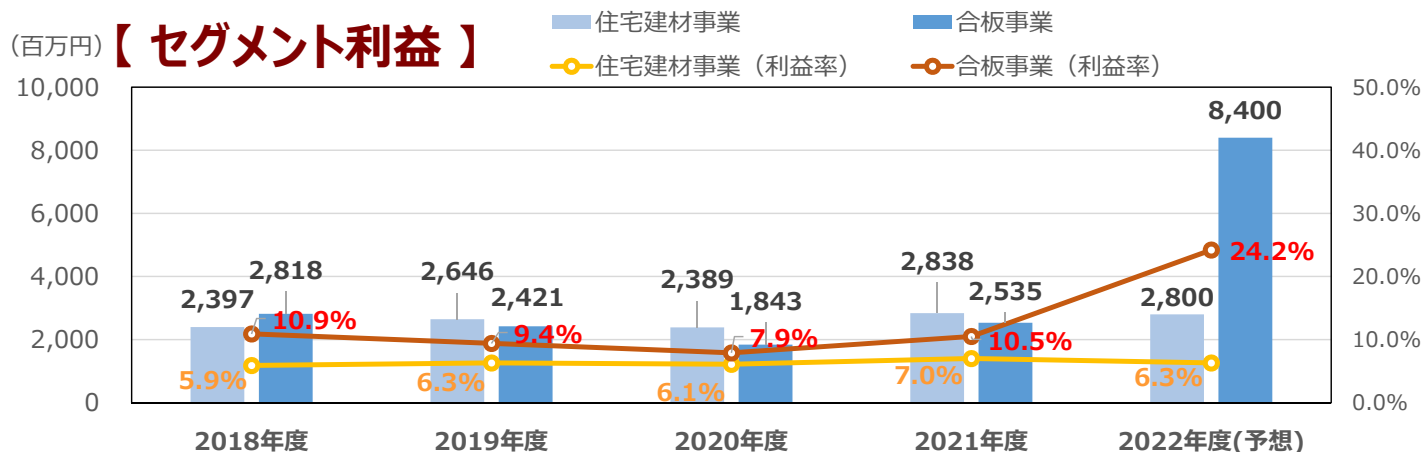
NODA

セグメント業績推移（直近5ヶ年）

【売上高】



【セグメント利益】



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

NODA

株式会社ノダ IR情報

<https://www.noda-co.jp/corporate/ir>



IRに関するお問合せ先 info-ir@noda-co.jp

本資料に掲載されている計画や見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、今後様々な要因によって、本資料とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。